

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所・小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム生きがい(第一ユニット)	評価実施年月日	H20. 8. 1~H21. 2. 2
評価実施構成員氏名	尾山 昌子 秋元 恵 佐藤 麻依 今 百合香 寺井 洋子		
記録者氏名	尾山 昌子	記録年月日	H21.2.15

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>独自の理念があります</p>		<p>今後も、理念を念頭に置き、行っていきます</p>
<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>職員の目の届く所に掲示している。社内研修で再確認しながら、取り組んでいます</p>		<p>日々の生活の中で実践しています</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>見やすい場所に提示している。入居時、面会時、運営推進委員会の時に説明しています</p>		<p>運営推進委員会時に、家族や地域の方に日々の生活や取り組みについて伝えています</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>近隣の施設の方が散歩の時などに立ち寄られて庭でお茶を楽しんでくれています。</p>		<p>お互いの行事があった際には参加し合っています</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>地域の小学校の行事に出かけたり、近隣の施設の行事に参加し、ホームの行事には、お知らせし交流をはかっています</p>		<p>近隣の施設の方が散歩の途中に寄って下さったり、地域の祭りの際には子供みこしが来てくれます</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>近隣や他の施設への花植えの時には、一緒に行っています</p>		<p>お互いの行事に参加し合い関係を深めていきます</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>外部調査報告書や自己評価表にもとずき、職員全員が活かせるように取り組んでいます</p>		問題点や改善点があれば、課題として取り組んでいます
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に一回開催し、委員会の方々に日々の取り組みを報告し意見を伺っています</p>		今後も継続して行きますが、委員会に参加して下さる方が増れば、もっとサービスの向上につながると思います
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>書類を提出する時に、窓口で相談しています</p>		サービス向上に取り組める機会をつくり行っていききたいと思っています
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>権利擁護に関し、学ぶ機会を持つようにします</p>		機会をつくり、行っていききたいと思っています
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>社内研修で話し合い理解をしています</p>		今後も学ぶ機会を多くし、活用していけるようにしたいと思っています
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約については、ご家族と話をし問題点があれば説明し納得して頂いています</p>		重要事項説明書に書いているが、説明を求められた時は都度対応してます

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見等があれば面会時の時や運営推進委員会の時に話し合い運営に反映にさせるようにします		意見があればいつでも伺います
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	2ヶ月一度各利用者に合わせて金銭の状況や、健康状態等の近況を報告書としてまとめ郵送しています。また、面会時にも日々の様子を伝えています		これからも続けていきたいとおもいます
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族から意見、不満、苦情等があった時は、都度伺い運営に反映させる様努めています。玄関に説明文と共に意見箱を設置しています		苦情は無いが、何かあればいつでも話してもらえるように努めていきます
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員の意見や提案は、都度聴き、フロア会議の時に話しあったことを反映させていきたい思います		これからも職員の意見や提案を反映させていけるようにします
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	勤務体制は、早番、日勤、遅番で動いているが、要望があった時や、緊急の時には柔軟な対応が出来る様、努めています		職員間で要望に対応できるように調整するよう努めています
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動等があった時は、利用者へのダメージが最小限に抑えられる様、職員が関わりを多くし配慮をしています		利用者への関わり方を関係を考え配慮するよう努めています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>毎月社内研修を行い、社外研修にも参加しています</p>		これから社内、社外研修を受けるよう取り組んでいきます
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>グループホーム協議会に参加しています</p>		これから参加していきたいと思います
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>職員の悩みやストレスは職員同士で話し合い、チーフや主任が相談にのり話を聞いたりしています</p>		ストレス軽減に向け相談し合える環境作りや仕事上の工夫をするように努めています
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>職員の努力していることや能力をいかしていけるように努めています</p>		職員が自分らしく生活していけるように努めています
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>入居の時やホームでの生活で、本人の求めていることや不安なことを聴き取り、受け止める努力をしています</p>		いつでもどんな時でも話を聴くように努めています
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>ご家族の求めていることを、不安なことを聴き取り受け止める努力をします</p>		ささいなことでも何かあればいつでも話してもらえるように伝えていきます

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人や家族が必要としている支援を見極め対応していくように努めています		本人と家族との面談の時に、必要としている支援の確認に努めています
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご家族との相談を重ねて、ホームの見学や雰囲気を感じて頂き、納得して入居して頂いています。ご本人にも安心して利用して頂けるよう工夫しています		何度でもホームの見学をして頂き、ご家族、ご本人共に納得して頂いています
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	共に一緒に過ごす仲間として、共に学び合い支え合う関係を築いています		日々、人生の先輩として、教えてもらうという思いや、尊敬の念を抱いて生活しています
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	面会時の会話をふくめて、話をする機会を多くし、共に支え合う関係を築いています		互いに話し合い、御家族にも参加してもらうようにしていきたいです
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	本人と家族間の関係を把握し、より良い関係でいられるよう支援しています。		面会時に近況報告をしたり、手紙や電話で連絡を取っています
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	面会や手紙、電話を通して関係を継続的に努めています。馴染みの場所へは家族の協力の上、支援に努めています		家族の協力を頂きながら、支援をしています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	孤立しないように関わりをもち、利用者同士が安心した生活を送れるように支援しています		利用者同士がより良い関係作りができるよう支援していきます
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退所時には、完全な退所が決定するまで、病院、施設、家族との連絡を取り合うようにしています		これからも継続していきたいと思います
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望や意向を聞き、それにそったサービス提供が出来るように努めています		本人の気持ちを一番に考えながら支援していきたいと思います
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	毎日の生活の中から、家族から話を聞き把握に努めています		職員同士が聞いた内容を共有して把握に努めていきたいと思います
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	本人の一日の流れを把握し声掛けや見守りをする事で心身の状態に変化がないか気を配っています、		職員同士の情報交換を日々行い現状の把握に努めています
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	本人や家族の話を聞き、職員同士の話し合いをしサービス計画書を作成しています		本人、家族からの聴き取りや、担当者会議での話し合いなどからサービス計画を作成しています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画の見直しの時は担当者会議を開催し、モニタリングをして現状に即した計画作成をしています		日々の情報交換で、本人の状況に変化があった時は、本人や家族と話し合いをし新たにサービス計画を作成します
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	情報を共有し日々の職員が介護記録に記入しています。担当者会議でもモニタリングを元にサービス計画の見直しに活かせるようにしています		介護記録に職員が1日の状況を記入している
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	その時の要望に応じて支援をしています		これからも継続していきたいと思います
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	民生委員は運営推進会議への参加、夏祭りの時のボランティア。ボランティアの方は指圧、茶道、歌会に来て下さる。消防は年2回の消防訓練や救命救急法の指導をして下さる。小学校は運動会や学習発表会に招待して下さっている		これからも継続していきたいと思います
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域のケアマネジャーやサービス事業者と連絡を取っています		これからも、相談し協力を得ながら行っていきたいと思います
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターとの協働は今の所ありません		これからは必要時には、お願いをしていきたいと思います

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	協力病院があり、定期的を受診をしており、必要な支援を受けています		定期的を受診しています。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力病院があり、受診し治療してもらっています		定期的を受診しています。職員は医師の指示を共有しながら支援をおこなって行きたいと思います
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力病院の外来看護師長に相談しています		これからも継続していきたいと思います
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	家族・病院と連絡を取り、情報交換をしています。退院に向けての相談も受けています		退院後も協力体制をととのえてあります
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	協力病院と相談し、本人や家族・主治医と話し合い、方針を共有できるように努めています		必要に応じ、その方にあつた機関の利用を支援しています
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	主治医や家族に相談しながら、支援をするよう努めています		主治医の治療を受けながら支援を行っていきます

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	なし(ホームから医療機関に転院のみ)		そういう状況にあった時に考えたいと思います
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	人生の先輩として、教えて頂く立場と考えながら、接しています。お話をする時は、はっきりゆっくりした口調で対応しています		記録は、本人が話した事を書く様に勧めています
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	自己決定や希望を表す事は難しい時もあるが、職員は本人が安心して暮らせるように支援しています		利用者が自己決定出来る様に、支援して行きたいと思います
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日常生活をゆったりとしたペースで過ごせるように心がけています		これからも継続していきたいと思います
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	各自がその人らしい服装が出来る様に、支援しています。理容、美容は、本人の要望に応じ利用し好きな髪型が出来る様支援しています		これからも継続していきたいと思います
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者と職員が、一緒に食事の準備や、食卓の準備、片付けを行い同じ食卓で楽しく食事が出来る様支援しています		これからも継続していきたいと思います

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	ホームではタバコを吸われる人はいない。お酒は提供していないが、飲み物やおやつは出来る限り、好みの物を提供しています		本人の嗜好を出来るだけ考慮しています
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	入居前の排泄パターンを把握し、気持ちよく排泄出来るように支援しています		個々の排泄パターンを把握しており、気持ちよく排泄し、夜間は安眠できるように支援していきます
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	曜日、時間はだいたい決まっているが、その中で入浴を楽しんで入ってもらえるように支援してます		職員の介助の元、入浴を楽しめるように支援しています。一人での入浴希望のかたは職員が脱衣所から見守ることへの承諾をもらっています
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	睡眠パターンを把握し、安眠してもらえるように日中の活動量を確保し、昼寝が多くならないように注意しています		個々の睡眠パターンを把握しており、安眠できるように支援しています
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	入居者の希望や状態に合わせて、家事の役割をし、楽しみごと(茶道・歌会・喫茶・散歩)に参加してもらいます		個々の役割を楽しむことを知り、張り合いのある生活を送れるように支援しています
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自分で金銭管理をしている方はいませんが、希望があれば、家族に確認をし必要に応じて小銭等の少額を所持してもらいます		近くに買い物出来る所はないが、いつも一緒に買い物に行けたらよいと思っています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	近隣へ散歩に出掛けたり、年に2度程車に乗って花見や紅葉を見に行っています		これからも体に負担のかからないように戸外に出掛けて行きたいと思いをます
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	バスレクリエーションとして、春と秋に2回ほど(花見・紅葉見学)出掛けています		家族と出掛けられる方もいますが、あまりそのような機会のない方のためにも、これからも行っていきたいと思いをます
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	家族や友人宅へ電話をかけたいときは、いつでもかける事ができます。手紙をかくよう声掛けはしますが書かれる方はいません		入居者が電話をかけたい時はいつでも支援出来ることを伝えていいます
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも面会に来て頂けるように家族・友人・本人に伝えてあり、職員にも気軽に話して頂けるように心掛けています		家族・友人が面会によく来られています
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	社内研修として3ヶ月に一度、身体拘束委員会を開催しています。拘束は必要なく、おこなっていません		これからも継続していきたいと思いをます
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中は、鍵はかけていません		玄関は夜から朝にかけて、施錠はしています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>昼夜共に、入居者の様子を把握に配慮しています。その様子は介護記録に記載しています</p>		<p>記録を読み、申し送りで様子を把握し安全確保をしています</p>
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>本人の持ち物に注意し、ハサミや刃物などは、職員が保管して、本人が使用する時は渡しています</p>		<p>入居前に家族と話し、了解を得ています</p>
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>研修で繰り返し学んでおり、職員は入居者の体調等を把握した上で、事故のないように努めています</p>		<p>定期的に研修をしていますが、事故防止に取り組み、知識の向上につなげていきたいと思えます</p>
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>救命救急の受講を受けているが、応急手当や初期対応は今後もくりかえし学習しています</p>		<p>急変や事故発生時に、すぐに対応できるようにしていきたいと思えます</p>
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>避難訓練・自主訓練・夜間避難訓練を行っており、隣接しているホームとの協力は得られています</p>		<p>敷地内にある2つのホームと協力し、安全に入居者を避難させる態勢を得ています</p>
<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>入居者の変化等を早めに家族に伝えており、対応策についての話し合いは個々に行っています</p>		<p>変化があれば家族に伝え、相談に努めます</p>
<p>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</p>			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	職員は入居者のその日の体調や様子を確認し、異変の発見に努め、速やかに対応出来るように支援しています		顔色・話し方・食欲・歩行状態の観察や血圧の測定を行っています
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	社内研修にて学んでいます。間違いのないように努め服薬の支援をしていきます		服薬管理を行うと共に、薬の説明書を読み、認識し安全に提供していきたいと思います
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	乳製品や海藻類を多く摂取するようにしています。水分量や食事量の把握をし、体操で体を動かすようにしています		便秘気味の入居者には、主治医より下剤が処方されています
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後声掛けや一部介助にて歯磨きをして頂いています。夕食後は義歯使用者は預かっており、明朝に返しています		毎食後職員が見守りや介助にて義歯や口腔内を磨いて頂いています
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日時に食事量・水分量のチェックをしています。必要とする方には、お粥や刻み食も提供しています		毎日食事量と水分量を記録に残しています、心配のある時は、主治医に相談しています
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザは毎年、予防接種をしています。		汚物処理には、マスク・手袋・エプロンを着用し、使用済みの物は使い捨てし、汚物の処理をすみやかに行います

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	まな板は調理後に漂白をし、布巾・スポンジ・たわし等は毎日漂白しています。食材は常温に長時間放置せず、冷蔵庫・冷凍庫で保管しています		冷蔵庫の掃除と調理器具の洗浄を継続していきたいと思います
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関周りにはプランターを設置し花を植えている、中庭には花壇の他に菜園もあり、ベンチを設置し入りやすくなっている		これからも継続していきたいと思います
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	正月飾りやひな人形。クリスマスツリーなど季節に合わせた装飾も行っています。フロアーにはカレンダー・時計・テレビ等を置いており、カーテンや証明等は家庭的な物を使用している		これからも継続していきたいと思います
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	入居者が共有空間にて、それぞれ自分の居場所を確保したり、ゆったりと過ごされていますまた、気の合う方とおしゃべりを楽しまれています		これからも継続していきたいと思います
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には、本人の馴染みの物を設置し、居心地良く過ごせるように工夫しています		タンスやベッド等、今まで使用していた馴染みの家具を置いています
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	温度・湿度計を設置し確認し調整しています又、一日に何回か窓を開け換気をおこなっています		これからも継続していきたいと思います
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	ホーム内はバリアフリーで安全に歩ける様になっています。廊下・階段・トイレ・風呂場には手すりを設置しています		これからも継続していきたいと思います
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	トイレには表示を大きくし目印を付け間違わずに行けるようにしています。居室には各自の表札を付け、わかるようにしています		これからも継続していきたいと思います
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	中庭や周辺でゆったりと過ごし、野菜を収穫したり、花をながめたりして過ごしています。同じ敷地内にある2つのホームの入居者の方とも交流を楽しんでいます		これからも継続していきたいと思います

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない	①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	④
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	②
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない	①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	③

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	②
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない	①

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)